

美術館の展示室で守って欲しいことはたった2つ!

「作品をこわさないこと」 「他の人の鑑賞をさまたげないこと」です。

作品は、わたしたちの共有の宝物です。

現在生きている私たちはもとより、未来の人たちの宝物でもあるのです。

その大切な作品を守るために…以下のことにご協力ください!



作品にはさわらないでください。

- 作品が傷つきますし、そっとさわっても、手の脂や汚れのために、長い年月の中で、作品にシミができたりカビが生えたりします。
- リュックサックや帽子が作品に当たらないように気を付けて見てください。



展示室内では食べたり飲んだりしないでください。

- 飲食物が、作品についたら汚れてしまいますし、食べかすが虫をよび、その虫が作品を食べてしまうことがあります。そのため展示室内に食べ物を持ち込むときは、かばんにしまい、飲み物(水筒やペットボトル)のふたはかたくしめてください。
※建物の外であれば、飲食可能です。



建物内ではふざけたり、走らないでください。

- 作品や他の人にぶつかるかも知れません。危ないのでふざけたり走らないようお願いいたします。
- 作品の前の柵でも遊ばないでください。これは作品保護のためのものです。体重をかけると壊れてしまうことがあります。



話すときは小さな声でお願いします。

- 大きな声は、他の人の鑑賞のさまたげになります。
- 大きな声で話すと、つばが作品にかかることがあります。それが、シミやカビの原因になります。
- 展示室内で携帯電話を使わないでください。通話や、また着信音も他の人の鑑賞のさまたげになりますので、電源を切るか、マナーモードでお願いします。



カメラ、ビデオ、携帯電話を使っての撮影はご遠慮ください。

- フラッシュの強い光は、作品の色あせにつながります。
- フラッシュや撮影の音は、他の人の鑑賞のさまたげになります。
- 作品(作者)には「著作権」があります。作者の許可を得ず、撮影したものを公開すると、著作権を侵害する場合があります。



メモする時のお願いです。

- えんぴつ、またはシャープペンシルでお願いします。ペン・マジックのインクなどが、作品についたら消すことができません。
- メモする時は、まわりのお客様にご配慮ください。他の人も作品を見たいと思っています。ゆずりあって鑑賞してください。
- 消しゴムは使用しないで下さい。
- 床、壁、展示ケースに押し付けたり、もたれたりして書かないでください。作品に当たってしまう恐れがありますし、壁が動いて作品が落ちる可能性があります。
(下敷きになるものをご用意ください。15名までの少人数であれば、貸し出し可能です。)
- ※ワークシート課題は原則禁止です。ご希望の際はご相談ください。
- ※模写をされるときは、ご相談ください。簡単な覚書程度の模写は可能です。また、長時間を要する模写を希望される場合も、必ず事前にご相談ください。

こんなときはご相談ください

雨のとき

一般的な美術館では傘は展示室には持ち込み禁止ですが、当館はいくつかの建物にわかれているため、傘は一箇所にまとめてこちらのご案内する場所においていただくか、それぞれ個人でお持ちいただくこととなります。なお、個人で傘をお持ちいただくときは、絶対に振り回したりしないようご注意ください。

お弁当を食べたいとき

お天気がよければ中庭がご利用可能です。そのほか、近隣で飲食ができる施設は下記のとおりです。各施設に直接お問い合わせください。

・新溪園「敬徳堂」(屋内、約200名、有料、要予約:予約の仲介は当館で行いますので、お申し出ください。)TEL.086-422-0338
・観光休憩所(屋内)TEL.086-425-6039 ・芸文館広場(屋外)TEL.086-434-0400

車椅子のお子さんがある場合

車椅子の貸出も行っております。数に限りがございますので、ご希望の場合は事前にご予約ください。

荷物を預かってほしい場合

お預かりできますので、事前にご連絡ください。ただし、大人数の場合は、中庭等をご利用いただくこととなりますので、引率の方の駐留をお願いすることもあります。

気分が悪くなったお子さんがある場合

簡易ですが、横になっていただけるスペースがあります。お近くの職員にお声掛けください。



お申し込みの手順

※ご来館のお申し込みは、ご来館を希望される日の2週間前までをお願いいたします。

ご来館のお申し込み

入館連絡書に必要事項を記入してファックスしてください。確認のため、後日こちらからお電話を差し上げます。
086-427-3677 (FAX)

事前打ち合わせ

ご来館しての打ち合わせ・下見もしくはお電話での打ち合わせ

実際に作品や展示室の様子をご覧頂くことにより、具体的な活動の展開を考えることができます。

※突然お越しになった場合は、職員が対応できませんので、ご来館しての打ち合わせ・下見については、必ず事前にご連絡ください。ご来館しての事前の打ち合わせが無理な場合は、電話での打ち合わせも可能です。

入館料減免申請書のご提出(必要な場合のみ)

当館ホームページからダウンロードして下さい。
(<https://www.ohara.or.jp/>→美術館あんない→利用案内[団体利用案内])
必要事項をご記入のうえ、事前に郵送かファックスいただき、原本を当日お持ち下さい。

ご来館

当日人数などの変更がございましたらお知らせください。児童・生徒の誘導とは別に入館券を受け取られる方がいればスムーズです。

入館料について

大原美術館入館券【本館/分館/工芸・東洋館】料金

	未就学児童	小・中・高校生	一般
個人	無料	500円	1,500円
団体(20名以上)	無料	300円	1,300円

※2020年4月1日～

授業および部活動で当館を利用する学生団体の割り引きについて

基本のルール

学生団体は、学生とその成人引率者が合わせて20名以上のとき、学生団体料金が適用されます。ただし、成人引率者(教員および保護者)の料金は、学生の人数に対し、未就学児童数の3割、小～高校生数の1割の人数まで学生団体料金となり、それを越える場合は一般団体料金となります。なお、20名に満たない場合は「小規模校の場合」をご覧ください。

小規模校の場合

全体で20名に満たない学生団体の場合、入館料減免申請書にて事前申請をすれば、学生は学生団体料金が適用されます。なお、成人引率者は学生数の半数まで学生団体料金が適用され、その数を越えると一般団体料金となります。適用は高校生まで。

支援学校の場合

養護学校は学生は無料、成人引率者は、学生に対して適性と思われる人数であれば、全員無料。ご来館の前に、必ず入館料減免申請書にて申請してください。適用は高校生まで。

倉敷市内・早島町内の学校の場合

倉敷市内・早島町内の学生団体は、学生は無料。成人引率者のうち、未就学児童数の3割、小～高校生数の1割まで無料。それを越える場合は、300円とします。ご来館前に入館料減免申請書にて申請してください。適用は高校生まで。

いきいきパスポートについて

倉敷市内在住の小・中学生は「いきいきパスポート」使用により、土日に個人でご来館の場合でも入館料が無料になります。また、付き添い2名まで割引料金(1,300円)となります。

大原美術館ではこんなことができます

ご来館プログラムのご紹介

大原美術館には、子どもたちと、美術作品と美術館とのよりよい出会いを目指して、学校団体に
ご利用いただけるプログラムがあります。プログラム実施希望の場合は、お問い合わせ・打
合わせの際にご相談ください。

【基本のプログラム】全てのプログラムに予約が必要です。
ワークシート、課題は原則禁止とさせて頂いております。予めご了承ください。

① ウェルカム・プログラム

美術館内で気をつけていただきたいことや、作品鑑賞へのモチベーションを高めるようなお話です。
※5～10分の短いプログラムです。美術館としてはできれば実施させていただきたいです。

② レクチャー・プログラム

大原美術館の成り立ちを、創立者大原孫三郎の生涯、美術館設立のための基礎となる作品を収集した
画家・児島虎次郎との関連、作品収集エピソードをおりませながらお話しします。
※20～30分のプログラムです。

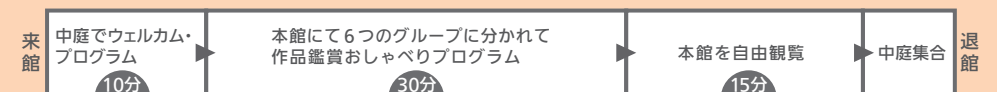
③ 作品鑑賞おしゃべりプログラム(対話型鑑賞) ※ご来館1ヶ月前までにご予約下さい。

10人程度のグループで、スタッフと一緒に館内をまわり、作品の前で、感想や気づいたことを話し合い
ながら、鑑賞をすすめます。

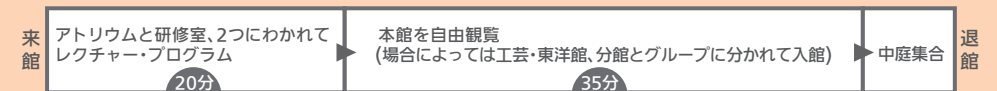
※ただし、団体の人数が多い場合や時間帯によっては対応できないこともございます。
必ず事前にご相談ください。

ご来館サンプルスケジュール

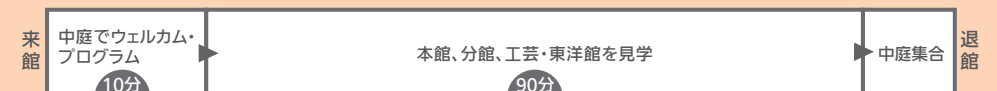
《60名程度の学校団体で、滞在時間が1時間程度の場合》



《100名を越える学校団体で、滞在時間が1時間程度の場合》



《滞在時間が長い場合》



※その他、人数、滞在時間に応じて基本のプログラムを組み合わせることも可能です。ご相談ください。

大原美術館HP、トップページの「ティーチャーズガイド」をご参照ください。